

# 広島県の地域医療の魅力について

～地域医療の現場で勤務する医師からのメッセージ～

広島県健康福祉局 保健医療部 医療政策課



## 県立広島病院地域医療支援センター 古川 正愛 医師

「地域医療って何?」でしょう?

色々答えがありそうな問題ですが、僕自身は「いろんな疾患の可能性を考えることが出来ること」ではないかと思っています。

専門の先生達は、自分の気になる所を見て、治療や診断をします。しかし、それ以外のところは、あまり興味を持ちません。でも、田舎に行くと、そこに専門医はいません。患者さんは、気になることすべてをこちらにぶつけて来られます。その人すべてを自分が診るので、自然と「この症状、どこから来てるんだろう?」と疑問がわきます。調べていくうちに、結構珍しい病気が判明することがあります。今時、どこにいても、たいていの検査は可能です。そして、珍しい病気自体は、都会でも、田舎でも必ず出会います。結構な田舎に行っても、「こんな病気、教科書の片隅にはあったけど、初めて診た」という経験をします。専門の先生に紹介すると「よく見つけましたね」と感心されます。外来で「先生が見つけてくれたけえ、治療が出来たんよ。」と言われると、結構気分のいいものです。



皆さんも、こんな経験、してみませんか?



平成13年  
県立広島病院  
臨床研修  
平成15年  
JA吉田総合病院  
平成18年  
安芸太田病院  
平成20年  
県立広島病院  
地域医療支援センター



## 神石高原町立病院 楠 弥子 医師

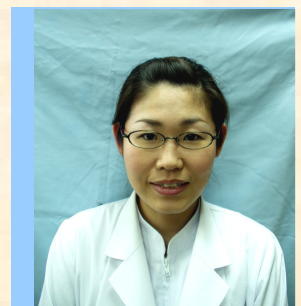
地域医療の魅力のひとつに、患者さんの「背景」がみえることがあげられるのではないのでしょうか。

実際に患者さんのご自宅に伺う訪問診療では、『看病されている奥さんも足が悪いな』とか『ベッドがある部屋は日当たりが悪いな』などの「背景」が見え、生活の様子を感じることが出来ます。床ずれ処置も、ベッドを工夫したり、清潔な水道水やラップを用いたり、自宅で継続的にできる対処方法をご家族と一緒に相談し取り組むことも出来ます。

ところで、地域にいと専門治療とは関係なくなるのではないかと、思われるかもしれませんが、決してそんなことはありません。現在は、情報手段も発達しているので、抗がん剤等の特殊な薬の調節やガーゼ交換など、専門の先生のご指示をいただきながら行うことも多いです。患者さんそれぞれの「背景」と相談しながら良いタイミングで受診いただき、専門病院との連携の上で無事治療を行えた場合など、とても充実感にあふれた気分になります。



地域での経験は、地域だけで生かされるものではなく、どこに行っても重要とされることであり、どの科でも大事なものであると思います。



平成17年  
県立広島病院  
臨床研修  
平成19年  
三次中央病院  
平成21年  
神石高原町立病院